１．補強工事について

①　補強範囲について

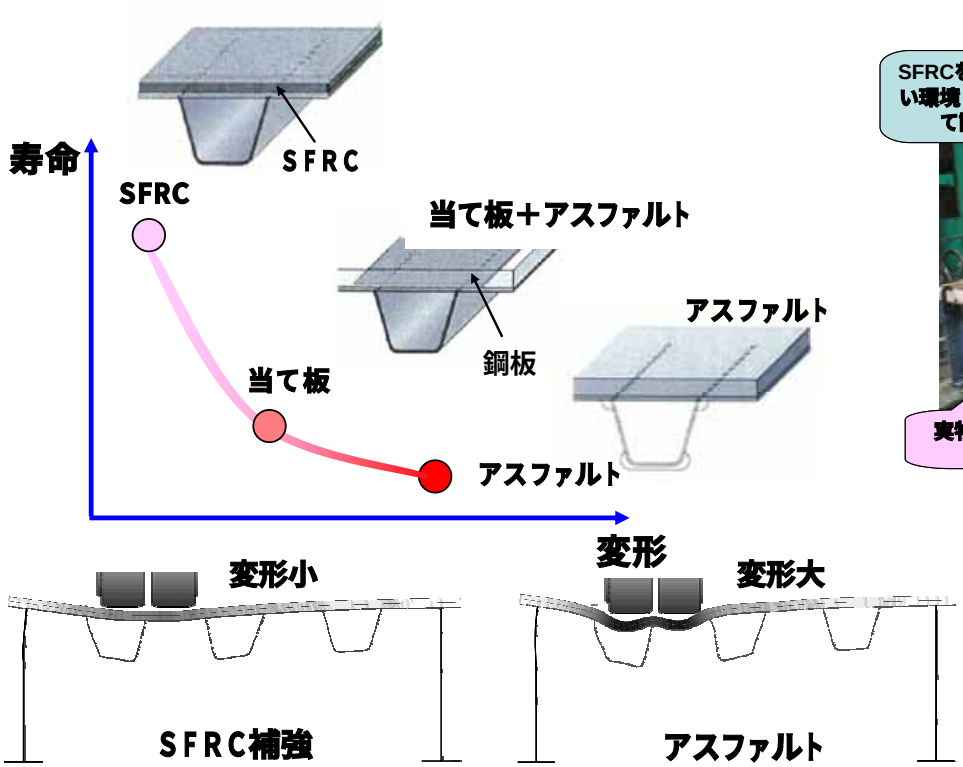
大型車両が繰り返し通行している走行車線（３車線のうち一番左側の車線）において疲労損傷の多くが発生しています。このため、補強は西行き・東行きとも、走行車線において行います。

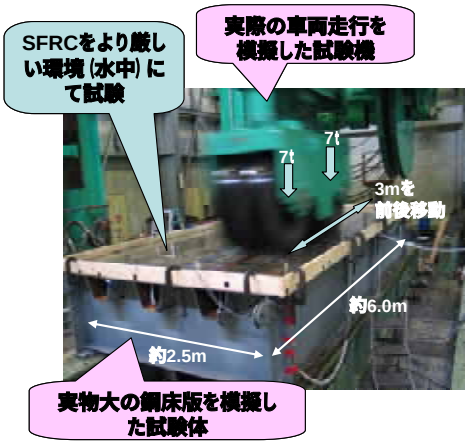
②　２４時間連続一車線規制による施工について

舗装の一部にＳＦＲＣを敷設することにより、通常の夜間工事時間（約９時間）では１回の施工量が制限（約 30m程度）されることから、24 時間連続で施工を行います。

③　ＳＦＲＣ補強工事の効果について

ＳＦＲＣを敷設することにより変形を抑制し、鋼床版の疲労寿命が大幅に改善されます。





ＳＦＲＣ舗装の補強効果を確認するための実験

④　工事試行の目的について

本試行工事において、ＳＦＲＣの施工能率、施工品質を検証します。

⑤　工事回数の削減について

今回の 24 時間連続工事は西行き･東行きをそれぞれ２回施工することにより、通常の夜間工事で実施した場合と比較して規制回数が大幅に削減できる見込みです。

集中工事をしない場合	１５回（想定）
集中工事をする場合	２回